



新潟県
プレス・デザイン
デンタルオフィス

吉岡 秀樹
先生

今回のアイテム

アダプトセクシヨナルマトリックス
アダプトルーシーウェッジ
プレミス

適度な湾曲で、自然に見える隣接面形態を築盛

「メタルインレーを白い歯に置き換えたい」といった要望で、来院される患者さんが当院では多く、治療オプションのひとつとして、私はダイレクトボンディングを比較的多用しています。

メタルインレーで修復されている場合、隣接面の修復を求められるケースが圧倒

的に多いです。その際に重宝しているアイテムが、アダプトセクシヨナルマトリックスのモデレート5.0mm(黄)です。

適度な湾曲により「自然に見える隣接面形態」を比較的容易に築盛できるのが魅力です。アダプトルーシーウェッ

ジを用いて、マトリックスの歯頸部側を押さえることで、レジンが歯頸部側へ溢出することを防ぎ、また、ウェッジに光透過性と拡散性があるため、十分な光重合が期待できます。

最終的な仕上がりは、色調の調和以上に「天然歯らしい形態」が重要と考えていま

す。

比較的硬めのレジンであるプレミスは、思い通りの形態を作るのに、私にとって欠かせない充填材です。

多くの症例でプレミス・トランスルーセントのクリアーと、わずかなステイン材を用いて「天然歯らしき」を表現しています。

